2023

Nanakamado

Junior Chamber International Japan ASAHIKAWA 2023

特別対談

清水 健史 第73代理事長 × 料理人 下國 伸

ナナカマド

□委員会紹介
□活動の軌跡
□メンバーインタビュー

JCI Asahikawa
一般社団法人 旭川青年会議所
令和5年度広報誌
令和5年11月15日発行

まちづくりは、「食（しょく）」づくり。

料理はとにかく楽しく

清水：下國シェフは料理学校を、東京とか札幌でなく、地元を選ばれたのは、何か理由がありますか。

下國：父が元々料理人で、僕は小さい頃からその姿に憧れて料理人を目指すようになったんです。でもしばらくは父に引かれたレールの上を歩いてました。学校もそうですし、最初に勤めたレストランも、父が用意してくれた。学校では地元でのんびりと楽しく学んだのですが、それが逆に良かったと思っています。料理はとにかく楽しく。その考えが今の僕につながっています。

アイヌから学ぶこと

清水：下國シェフの料理には、アイヌからヒントを得たものもありますね。

下國：アイヌは本当に季節を食べる方々なんです。目の前にある収穫物を獲って食べて、冬はそれを貯蔵する。アイヌは獲った動物を皮から骨まで全部使いきって、本当に無駄にしない。僕も季節のものを使って、作りすぎずに、天然のものを生かしていく、そういう自然体の意識を持ちながら日々の料理を作り続けようと心がけています。

清水：その考えは、フードロスの現代には大切な考えですね。

食材の魅力、まちの魅力

下國：僕の料理は北海道の食材が中心なのですが、実は旭川の食材については限られたものしか知りませんでした。昨年、お米の「ななつぼし」を使ってコース料理を作るイベントに参加しました。そこで、このお米の凄さに驚いたんです。単純に炊いた美味しさだけでなく、スープやチップスなど、どんな料理にも使いやすい。それからは旭川産に注目しています。旭川の農産物は全国的に有名ではないけれど、平均値はものすごく高い。だからそんな食材たちを僕らの料理で底上げしたいと思っています。

清水：旭川JCでも旭川の野菜を盛り上げようという事業を行ったことがあります。飛び抜けた野菜はないものの、旭川は多品種少量生産で、全部おいしい。これってすごいなと思います。でも野菜だけじゃなく、肉も魚も豊富で、遊びも冬のスキー場は近いし、買い物も、デパートがなくなってハイブランドを旭川で買えないけれど、それは、札幌行けば買え

るし、東京も1時間半で行ける。何を欲しても比較的手軽にハイレベルのものを手に入れられるっていうのは、旭川のすごくいいところだなと思ってます。

旭川にブランド力を

下國：僕は今、日本全国を旅しながら、その地域で料理を作ることもやってるんですけど、新潟県南魚沼市に行くと、そこはコシヒカリが有名で、そのエリアは1キロ1万円もするような信じられないお米を作ってる人もいるんです。今、後継者不足って言われてますが、ブランドがついたものは高く売れるし、後継者もちゃんといるんです。

清水：旭川の良さって結構分かりにくいんですよ。良さを伝えるためには、パッケージングとか一工夫が必要じゃないかと思います。旭川のお米とか野菜とかお肉は、単品では今のところ有名になるだけのブランド力は持っていませんが、何かを組み合わせて、旭川っておいしいものがこんなにたくさんある、っていうのを、シェフの腕で持ち上げてくれると旭川人としてはすごく嬉しいです。

旭川に貢献していきたいこと

下國：僕ができるのは本当に食の部門だけなので、「食の明るい未来を作りたい」というのが一つなんです。食の未来というのは、つまり料理人なんです。例えば、あるフランスの三ツ星レストランは山奥にあるんですけども、そのレストランがあるからその街は潤う。料理人がいれば、その街は輝く。僕は今、食のアンバサダーという役職をいただいて、任期が3年。その3年間で旭川に新しい食文化、そして食の新しい価値をという意味合いを込めて、その3年後に卒業する子供たちと組んで旭川新名物を作る会を発足しています。旭川で100年後まで輝くような料理をどう作るか。ラーメンばっかりじゃないぞ旭川はっていうようなものを作ろうと。ちょっと無謀な挑戦をしてるかもしれません。

清水：旭川って北海道のほぼ真ん中にあって、アクセスがいいことを考えると、旭川においしい食べ物があったら、旭川はめちゃめちゃ潤いますよね。下國シェフがやろうとしていることは、本当に旭川の希望を灯してくれることだと思います。

下國：今は一人勝ちの時代ではないと思います。もしすごくいいレシピが出来たら、それをみんなに渡してしまえばいいんじゃないのかなって思うんですよ。地域全体が潤っていけばいい。色々なことをやるにしても、もちろん皆さんのお力添えがなくてはできないと思うので、いろいろご相談することがあるかもしれませんので、その時はお願いします。

食と子供たちと

清水：僕的には、未来ある食のために、子供たちが参加できるような食のイベントを企画していただけたらと思います。旭川JCは、毎年、伝統的に子供たち向けの職業体験事業をやってます。しかし、子供たちって、職業というと、自分の親の仕事と教師と医者ぐらいしか知らないのが実情です。そんな中で、やはり料理人って人気になると思います。また旭川の強みでもあるので、ここで「子供たち×食」のイベントを、やってみたら面白いんじゃないかと思いました。

下國：スケジュールを空けときますね。（笑）今、朝の情報番組でレギュラーコーナーを持たせてもらってますが、僕は自分を調理師とか料理研究家とか言わずに、料理人ってずっと言い続けてるんですよ。そしたら、子供たちが僕のことを「料理人」って呼んでくれるようになりました。「料理人って何ぞや」っていうものを伝えるために僕はあの番組に出ているんです。

清水：本日はありがとうございました。

下國　伸（37 / 1986年生まれ）

北海道・旭川生まれ。料理人の父の影響で料理の道を志し、地元の調理師専門学校を卒業。箱根のオーベルジュ・オー・ミラドーで約4年半、東京ピエール・ガニェールで約2年の修行を積む。その後、フランス・ローヌ地方の有名店を経て、北海道に戻る。舞台を札幌に移し、数店渡り歩いた後、新規立ち上げのフレンチレストラン・W27の料理長に抜擢。自身の哲学に基づく新しいフレンチのカタチを見出す。2017年、札幌の老舗フレンチレストラン・コートドールから声がかかり、4代目の料理長を務めた。既成概念にとらわれない自由なフレンチを体現する。

2023 旭川青年会議所 委員会活動

2023 POLICY MANIFESTO

01 組織改革会議
議長／菅原 啓太郎 (令和3年入会)

02 総務委員会
委員長／大野 史聖(平成29年入会)

03 地域デザイン委員会
委員長／湯野 永知(平成31年入会)

04 ダイバー City 委員会
委員長／及川 雄太(令和3年入会)

05 広報委員会
委員長／中保 翔太(令和2年入会)

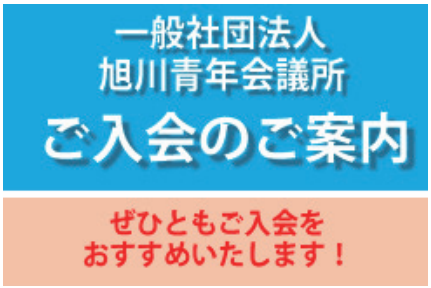
06 人財委員会
委員長／佐々木 聖(平成29年入会)

07 まつり事務局
局長／飯豊 育民(令和4年入会)

08 公益社団法人日本青年会議所 北海道地区協議会 地域活性化室
室長／野村 晋也(平成29年入会)

組織改革会議

議長／菅原 啓太郎



ご入会案内リーフレットの作成

4月第一例会「JC活動は委員会から!
委員会運動活性化計画!

8月第二例会「～より良い組織を目指して～
メンバー全員で達成するまちづくり運動を!」

私たちJCは、かけがえのない仲間と共に自己の発展と成長を願いつつ運動を通して地域まちづくりに貢献していく団体でありますが、今後この旭川JCが更により良くそして活発な組織を目指していくためにはどうしていくべきか。これに焦点を絞ってこの1年間、尽力を注いでまいりました。

活発な運動を行っていくためには志を同じうする仲間の輪を拡げていくことが必要です。組織の拡充を図るべく、内容を新たにJC入会の手引きを作成しました。4月第一例会ではより良い組織を目指すため、組織の現状を把握したうえで今後の運動に活かしていくべく組織論を学ぶ例会を実施しました。

8月第二例会ではまちづくりに携わる意欲を高め、更に事業展開の視野を広げていくべく旭川市より特別に許可をいただき、北彩都ガーデンの地にて台湾人モニターを数名ご招待し、キャンプ事業を実施しました。今後も旭川JCはより成長と発展を望み、挑戦し続け、自ら改革し進化していく組織を目指します。

委員会メンバー

□副委員長／渡辺 康介・筒井 和騎・春木 真樹
□委員／媚山 将平・杉村 凛太郎・林 広大

総務委員会

委員長／大野 史聖

1月第一例会 新年交礼会

7月第一例会 臨時総会での定数確認

9月第二例会 2023年度定時総会

2023年度の総務委員会では定款に定めてある通り定時総会･臨時総会の設えや式典の設え、今年度の各事業の運営サポートをさせて頂きました。新年定時総会では事業報告並びに決算報告や、今年度の事業計画並びに収支予算案報告で前年度の締めと今年度の始まりの設えから始まり、その他の総会については次年度理事長予定者･理事予定者の選任という次年度へバトンを繋ぐ設えを行いました。式典については新年交礼会にて対内･対外の多くの方々にご出席頂きまして大変ありがとうございました。いずれも2023年度旭川JCの節目という大切な事業を設えさせて頂きましたが、委員会メンバーはもちろんのこと旭川JCの全メンバーの支えがあり、一体になったからこそどの事業もつつがなく終えることができたと考えており、感謝しかありません。今後も全メンバーと協力することで旭川JCのありたき姿を目指し邁進してまいります。

委員会メンバー

□副委員長／佐々木 詢・原渕 輝・吉田 有希
□委員／野村 晋也・坂下 翼・藤兼 大和・渡邊 凉太

地域デザイン委員会

委員長／湯野 永知

Junior Chamber International Japan ASAHIKAWA 2023 03

2月第二例会
「旭川青年会議所２月第二例会「今津市長とそこまで言って委員会」

2月第二例会
「旭川青年会議所２月第二例会「今津市長とそこまで言って委員会」

9月第一例会
「地域デザイン委員会が考える旭川のまちのあるべき姿発表会」

地域デザイン委員会は昨今の経済成長の鈍化や人口減少などの背景を受けて、何が起きるかわからない状況だからこそ、多くの人を巻き込み、地域のビジョンを共創/共有することが必要だと考えました。そこでまちづくりの基幹である行政の考えや持続可能な地域とはどのようなものなのか理解するために、旭川市長をお招きして例会を実施しました。完全クローズ例会なので内容は割愛しますが、明るい豊かな社会に向けて力強いお言葉を頂きました。また、10月にはメンバーに対して地域デザイン委員会が考える旭川のまちのあるべき姿を共有し、大雪カムイミンタラDMOの佐藤副理事長にご講演を賜りました。地域創生と観光について示唆に富む内容となりました。1年間の活動を通じて多くの方々と出会いましたが、共通して感じたことは、地域への愛と誇りを持つことの重要性です。今後も旭川への愛と誇りを持ち運動していきたいです。

委員会メンバー

□副委員長／川村 健太・泉澤 卓也・桑野 紗耶加
□委員／山﨑 五良・野畑 健太郎・金 太一

ダイバー City 委員会

委員長／及川 雄太

Junior Chamber International Japan ASAHIKAWA 2023 04

5月第一例会
「自分の成果を広げよう!人生の先輩に聞く、夢をかなえるプロセス」

10月第一例会
「誰もが活躍できる社会へ!みんなで作る旭川の未来」

10月第一例会
「誰もが活躍できる社会へ!みんなで作る旭川の未来」

ダイバーcity委員会は、持続的で豊かな未来を実現するため人々の多様な個性を最大限に発揮することによって強靭な社会を築くことが必要だと考えました。そこで、これから社会へ進出しようとする高校生に対し、社会で活躍する講師からの講演やアドバイスを受けることで、自身の視野を広げ将来への可能性を高めることを目的とした例会を開催しました。講演や質疑応答を真剣に聞く青少年の姿があり多くの気づきを得ることができたのではないかと思います。また、10月には旭川をより良くしようとする様々な活動を広く発信し、多くの市民に知ってもらうために、旭川市と共催のイベントという形で例会を開催しました。当日は多くの人々で賑わい、まちづくりに対する市民の共感と応援の輪の広がりを実感できました。活動を通じて、多くの人が協力し合うことでまちづくりの輪が広がることを実感できました。今後も誰もが活躍できる社会を目指して運動を展開していきます。

委員会メンバー

□副委員長／上野 龍哉・尾崎 恒夫・立石 大直
□委員／林 祐作・藤井 裕万・秋山 智史

まつり事務局

局長／飯豊 育民

Junior Chamber International Japan ASAHIKAWA 2023 05

旭川冬まつり支援事業「Snow Town in Tokiwa2023」

第33回烈夏七夕まつり

第33回烈夏七夕まつり

まつり事務局は、旭川の上質な雪や氷など冬の資源を遊びとして活かすことは冬への愛着に繋がり、旭川に対する郷土愛を醸成する絶好の機会であると考え、旭川冬まつり支援事業「Snow Town in Tokiwa2023」を開催いたしました。市民、市外からの観光客や多くのインバウンドが地域資源に触れ、旭川市への郷土愛や愛着を醸成する機会の提供ができました。「烈夏七夕まつり」では、伝統あるまつりを通じて市民同士で触れあい、共に賑わい、笑顔溢れ心に残る熱い夏を生み出すことが郷土愛と豊かな心を育むと考えました。第33回を迎えた本年、コロナ渦以降初の通常開催を行いました。当日は大雨の予報でしたが、連行時には雨が上がり、観客の皆様に迫力のある山車、太鼓、踊りが三位一体となった烈夏をお見せすることができました。

委員会メンバー

□副局長／荻野 匡史・佐々木 雄大・松田 拓也
□局員／戸田 昭弘・工藤 貴弘・谷川 虎太郎・山本 昌史

広報委員会

委員長／中保 翔太

Junior Chamber International Japan ASAHIKAWA 2023 06

旭川明成高校への訪問

まちなかキャンパスへの出店

北海道新聞旭川支社斉川支社長との対談

2023年度の広報委員会では、「伝える」から「伝わる」広報をテーマに旭川JCの活動の発信や地区における事業の発信、旭川の情報発信などをSNSを中心に行いました。更新頻度を高く、ハッシュタグなどを工夫し投稿をし多くのリアクションもあったと感じます。X（旧Twitter）も新たに開設し、多くのステークホルダーに情報を届けられたと考えます。3月は市内の高校へ訪問し若い世代との意見交換の実施、6月はまちなかキャンパスへ出店し多くの子供たちに烈夏の太鼓を体験してもらい、7月には北海道新聞旭川支社斉川支社長との対談、10月には下國シェフの対談などと一年間通しステークホルダーの興味関心を高める一助となる活動ができたと考えます。烈夏七夕まつりでは、インスタライブを試験的に行い、手応えを感じました。今後も時代の変化に合わせた広報活動ができるよう、次年度の広報委員会へ引き継ぎ、積極的に新たな挑戦を続けていきたいです。

委員会メンバー

□副委員長／遠藤 健晃・熊木 知広・菅野 準
□委員／大野 辰之伸・河井 敏成・栫 未来

人財委員会

委員長／佐々木 聖

新会員オリエンテーション・交流会

6月第一例会「やる気・元気は動機づけ。モチベーション向上例会」

10月第二例会「同心協力」~みんなでつくろう旭川の未来~

人財委員会は会員拡大の事務局として活動して参りました。その中には入会後の新入会員へ礼節やマナーを伝えると共に、100%の能力を発揮できるようにメンバー一体となり切磋琢磨できる環境を整えて参りました。新入会員は他地区の新入会員と事業を設えるアカデミー研修塾という場が設けられており、お互い結束を深め、事業と新入会員同士の関係を構築する学びを提供しました。そして、入会後の集大成として設えた新会員例会では旭川の新入会員が結束力とまちづくり、ひとづくりの能力を飛躍的に高めることに成功しました。また、組織の質の向上に努めた6月例会では講師をお招きして旭川市を盛り上げるための個々に訴えるモチベーション向上例会を設えました。社内や社外、家族に知人と場面を選ばずに活躍できる学びの場をメンバーへ提供できました。今後も人財委員会は明るい豊かな社会の実現へ向けて会員拡大を継続していきます。

委員会メンバー

□副委員長／中本 吉彦・伊藤 圭吾・安井 拓人
□委員／遠山 優太・岸井 一憲・奈良岡 美咲・中野 宏哉

公益社団法人日本青年会議所北海道地区協議会とは

地域活性化室室長／野村 晋也

JCウインタースポーツフェスタ

JCウインタースポーツフェスタ

JCIアジア太平洋エリア会議ASPACジャカルタ大会

第72回北海道地区大会登別室蘭大会

北海道地区協議会はJCI日本の方針に沿って北海道が抱えている課題と向き合い、課題解決の糸口を模索しながら地域をより良くするための運動を推進している組織です。また全道各地の青年会議所会員や道民へ運動の成果を発信したり、様々な情報を全道各地の青年会議所と共有することに加え連絡調整を行うなど、青年会議所の総合連絡調整機関でもあります。本年、地域活性化室室長として出向させていただき、2つの委員会を担当させていただきました。地域経済活性化委員会では北海道の魅力溢れる地域資源を確立させるために地域の魅力ある資源・文化・伝統等のコンテンツの発掘と発信を行い、多くの方々に共感をえることができ、地域活性化の一助とすることができたと考えます。また、スポーツ推進委員会では今後の未来に向けてスポーツの楽しみや魅力を多くの人へ発信することで、新たなつながりを確立し、スポーツ振興の推進から経済発展への新たな可能性を確立することができたと考えます。

出向者一覧

◆地域活性化室 □室長／野村 晋也
◆道北エリア運営会議 □副議長／佐々木 詢 □議員／藤井 裕万・佐々木 聖
◆地域経済活性化委員会 □副委員長／佐々木 雄大 □委員／椙 未来
◆スポーツ推進委員会 □副委員長／筒井 和騎 □委員／吉田 有希・林 祐作
◆広報戦略委員会 □副委員長／安井 拓人 □委員／堀 直也
◆地区大会運営委員会 □副委員長／横内 浩平
◆持続可能な北海道確立委員会 □委員／上野 龍哉・馬場 智章
◆総務運営委員会 □委員／岸井 一憲

三　役

理事長／清水 健史

Junior Chamber International Japan ASAHIKAWA 2023

2023年度スローガン

あなたとまちをWin-Winに。

北海道経済提供

旭川JCは、社会の課題を解決して持続可能な明るい豊かな社会を創るため、メンバーが委員会ごとに分かれて、シンポジウム、体験型学習、行政への提言、おまつり、広報、組織運営など様々な活動をしています。メンバーはその中で、社会課題の現状を把握し、原因を特定し、誰に何を伝えるか考え、人を巻き込み、発信をするなどして、自らを成長させる様々な機会を得ることができます。この、まちづくりとひとづくりが青年会議所の存在理由です。三役は、青年会議所の運動が、まちや市民の役に立ち、メンバーの成長の機会となるように、ビジョンを掲げ、メンバーの役割分担をし、活動に対して助言をします。青年会議所の主人公はメンバーや委員会であり、三役ではありませんが、メンバーの運動がより多くの市民により役に立つことができるように、より多くのメンバーにより良い発展と成長の機会を与えられるように、日々試行錯誤し、決断をし、助言をしています。

□副理事長／馬場 智章・横内 浩平・堀 直也　□専務理事／北崎 悌綱

一般社団法人旭川青年会議所 2023 年度 活動の軌跡

1月 第一例会　「新年定時総会·新年交礼会·卒業生を送る夕べ」（総務委員会）
2月 第一例会　「冬まつり支援事業Snow Town in Tokiwa 2023」（まつり事務局）
2月 第二例会　「今津市長とそこまで言って委員会」（地域デザイン委員会）
3月 第一例会　「新会員仮配属式」（人財委員会）
4月 第一例会　「JC活動は委員会から!委員会運動活性化計画」（組織改革会議）
5月 第一例会　「自分の世界を広げよう!人生の先輩に聞く、夢をかなえるプロセス」（ダイバーcity委員会）
6月 第一例会　「モチベーション向上委員会」（人財委員会）
6月 親睦事業　「懇親会」（副委員長会）
7月 第一例会　「臨時総会」（総務委員会）
8月 第一例会　「烈夏七夕まつり」（まつり事務局）
8月 第二例会　「~より良い組織を目指して~ メンバー全員で達成するまちづくり運動を!」（組織改革会議）
9月 第一例会　「地域デザイン委員会が考える旭川のまちのあるべき姿発表会」（地域デザイン委員会）
9月 第二例会　「定時総会」（総務委員会）
10月 第一例会　「誰もが活躍できる社会へ!みんなで作る旭川の未来」（ダイバーcity委員会）
10月 第二例会　「新会員例会」「同心協力! ~みんなで作ろう旭川の未来~」（人財委員会）
11月 第一例会　「創立73周年記念式典·祝賀会」（総務委員会）
11月 第二例会　「卒業生例会」（卒業生）
12月 第一例会　「意気込み例会」（三役）
12月 第二例会　「クリスマス例会」（副委員長会）

1月 第一例会　「新年交礼会」

8月 第一例会　「烈夏七夕まつり」

8月 第二例会　「~より良い組織を目指して~
メンバー全員で達成するまちづくり運動を!」

JCI Asahikawa member interview

旭川JCメンバー　インタビュー

岸井　一憲

株式会社
キシイ
平成31年 入会

卒業にあたって

2019年度入会し、活動して行く中で、旭川JCをはじめ道北エリアの多くのメンバーの方々と人脈を拡げ、仲間を作ることができました。卒業までの5年間を振返ってみると、特に道北エリアの入会同期がLOMや出向先でどんな役職にチャレンジされるのかを意識しながら過ごし、自分自身を鼓舞していたと思います。JC卒業にあたり、この5年間でお世話になった全ての方々への感謝を忘れず、学んだことをしっかりと自社で活かして参りたいと思います。今後は現役皆様のご活躍を心よりご祈念申し上げると共に、微力ながらも旭川に貢献して参りたいと思います。

媚山　将平

媚山鉄工
株式会社
平成30年 入会

参加率の低かった私が、最後の年に参加してみて思う事

新入会員の時点では頑張っておりましたが、JC活動の大変さを感じた私は暫くの間参加出来ずにおりました。今年は最後の年であり、議長がたまたま高校時代の先輩という事もあって、出来る限りの参加を致しました。組織改革会議という委員会の結束力や意見に対して建設的に進める打ち合わせは、とても楽しく非常に有意義であり、組織の在り方の方向性が見えた気がします。参加率が低かった私を快く迎えて下さった旭川JCの皆様には心から感謝しております。現役の皆様の中で参加が中々出来ずにいる方も、是非ご自身のタイミングで参加してみて下さい。

佐々木　陸

株式会社
キュービック不動産
令和5年 入会

旭川JC、入会1年を終えて

旭川JCに入会させて頂き仲間、学び、挑戦の機会を頂いていると感じます。入会にあたり決めていたことが一つあります。どんなことにも諦めないことです。どんな状況でも諦めず前に進むことを決めていましたが、入会して良い事業を構築するのに沢山悩みました。そんな時いつも仲間が私に手を差し伸べて支えてくれました。本当に仲間の存在が私の支えてあり、どんなことも諦めず挑戦できると日々感じています。この出会いの輪を大切にし、どんなことにも諦めずに挑戦して、旭川のために貢献できるよう邁進して参ります。

JCI Asahikawa member interview

旭川JCメンバー　インタビュー

桑野　沙耶香

YASAKA
コミニケーション
デザイナー
令和4年 入会

旭川を盛り上げる活動がしたい

「旭川を盛り上げる活動がしたい!」と思って活動している所、旭川JCのシニアの方に誘われ興味本位で入会させて頂きました。入会してちょうど1年、まだ全貌を把握しきれないほど魅力の宝庫です。性別も仕事の業種も関係なく志を同じくした者同士が、毎月例会を通して課題を見つけ学び、実践へと挑戦し成長できる機会を得ています。何より会員の業種は多種多様なので違う視点、価値観を学べるのはとても楽しいです。地域貢献も、自己の成長も望んで臨めば無限、礼儀や作法も重んじたりと温故知新の精神もあり多様性に富み、それでいて堅苦しくなく、仕事も家庭も大切にしながらJC活動も出来るようにいつでもアットホームに迎えてくれる旭川JCの心強い仲間と一緒に無限の可能性を創造していきませんか。

筒井　和騎

株式会社
ダスキン旭川
平成29年 入会

青年会議所に費やす時間とお金の代価として得られたもの

おそらく私も含めた会員の皆さんは、自己研鑽や人脈形成のために、まちづくりに関わりたいといった想いをもって入会をされたのだと思います。私自身、会社の代表になるまでに様々な経験を積みたい、自分の家族がいる、会社がある旭川をもっと良くしたい想いで入会しました。世の中には様々な自己研鑽の機会があります。青年会議所で得られるものは人によりますし、関わり方にもよります。人脈、マネジメント力、PCスキルなど多岐にわたりますが、7年目を終える今、最も価値があったと感じるものを短い言葉で表現するならば、「利他の精神」「無償の愛」「ありがとうとおかげさま」です。これまでもこれからも私に関わってくださる全ての方に感謝しながら邁進します。

林　祐作

北海道議会議員
平成26年 入会

旭川JC入会から、これまでを振り返って

私は2014年25歳の時に旭川JCに入会しました。約10年間の活動ではやればやるだけ得るものがありました。政治家一人ではできないまちづくりもJCだからこそできたことも多く、若者の情熱と行動こそが社会を変えると改めて実感しました。在籍していると頼りにされる機会があります。きつくてもそれを受けると、今までの自分にない経験と価値観、大切な仲間を得られるので、自分とその先の人生を大きく変えることができます。JCに大きく人生を変えてもらえた一人として、何かしらの変化を望む方こそ、旭川JCの入会を本気でお勧めします。

その他の活動

1月 各LOMの新年交礼会へ参加

2月 第43回バーサーロペット・ジャパンボランティア

3月 旭川明成高校探究授業参加

5月 ごみのポイ捨て禁止運動へ参加

6月 2023北海道綱引フェスティバルin旭川36出場

6月 まちなかキャンパス参加

7月 上川神社例大祭神輿渡御参加

7月 北海道旭川子ども総合療育センターこどもまつりボランティア

8月 北方領土返還要求署名活動

8月 e-sports普及推進協定締結

9月 札幌青年会議所野球交流大会

第43回バーサーロペット・ジャパンボランティア

旭川明成高校探究授業参加

上川神社例大祭神輿渡御

活動参加団体

- □冬まつり実行委員会
- □夏まつり実行委員会
- □デザインウィーク実行委員会
- □まちなかキャンパス実行委員会
- □食べマルシェ実行委員会
- □旭川市総合計画審議室
- □旭川ななかまど文化賞協議会
- □令和5年度「旭川未来会議2023」
- □旭川駅周辺かわまちづくり検討会

Member recruitment JCI

私たちと一緒に活動しませんか?

旭川青年会議所は会員を募集しております。

青年会議所「Junior Chamber International」とは

国籍、人種、性別、職業、宗教の区別なく20歳（旭川JCでは25歳）から40歳までの志の高い青年経済人によって構成されています。「修練」「奉仕」「友情」という三信条を掲げ率先して行動する仲間たちで運動しています。

JCは大きな可能性に向けての自己の成長と発展の場です。

他では得られない信頼関係と真の友情を育みながら、私たちのまち旭川の未来をつくりあげて行きませんか?

きっとあなたの将来に大きな可能性を見出してくれます。

第74代旭川青年会議所理事長
北﨑 悌綱 君

2024年度スローガン

不易流行

2024年度の運動をする我々は本質的なJC運動を理解し、変えてはならないもの、変えなくてはならないものを明確にします。いつまでも変わらない本質的なものを大切にしながら、時代に応じて変化する価値を我々で創りあげるために全員で可能性に挑戦していきます。

広報誌ナナカマドの由来

1964年、旭川青年会議所は、緑橋通りの緑化運動を行い、ナナカマドを植樹しました。ナナカマドの木は、現在ではイルミネーションで美しく飾られ、緑橋通りの象徴となっていますが植樹が契機となり、1976年ナナカマドが「旭川の木」と認定されました。以上のことからナナカマドは旭川青年会議所の歴史を作った木でもあり、広報誌の名前も「ナナカマド」となりました。

〈お問い合せ先〉平日10:00~17:00まで
TEL0166-22-9815
旭川JC 検索
公式WEBサイト 公式facebook 公式Instagram
https://www.asahikawa-jc.or.jp ※過去の広報誌はWEBサイトより

Nanakamado 2023
JCI Asahikawa
Junior Chamber International Asahikawa
一般社団法人 旭川青年会議所
発行者／一般社団法人 旭川青年会議所 〒070-0031 北海道旭川市常盤通1丁目 道北経済センタービル5階 TEL0166-25-9815
発行人／第73代理事長 清水 健史 編集／広報委員会 制作／株式会社ノヴェロ旭川支社 発行日／令和5年11月15日